

■ 2024・12 新しい社会貢献活動 3 つの柱を呼びかけました

12月の

社会貢献活動の

お知らせ

「お金をかけず・誰でも・いつでも参加できる」新しい社会貢献活動の展開に着手し コンセプトを確認しました
12月は「同窓会社会貢献活動にふさわしい3つの柱」を呼びかけました

投稿日 2024年12月26日

訂正版投稿日 2025年1月21日

投稿者 理事・社会貢献活動担当 田代和嘉・佐々本幹夫

■ 12月は「社会貢献活動を楽しく取り組むために3つの共有したいこ

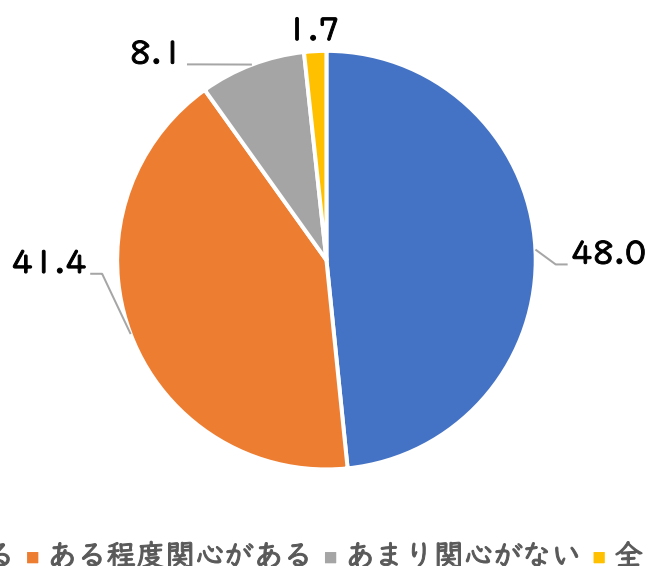
と」の確認を行い、「同窓会社会貢献活動にふさわしい3つの柱」を呼びかけました

地域で、スキル・資格・経験を活かして社会貢献活動をしておられる方が大勢います。
厚生労働省の「国民健康・栄養調査報告」（令和元年）によると「町内会や地域行事などの活動」に参加している人は男性42.8%、女性43.4%です。

一方で、ステークホルダーを超えて個人ができる社会貢献活動をしておられる方も大勢います。気候変動問題に関心がある人は、内閣府の「気候変動に関する世論調査」（令和5年）によると「関心がある」とする人の割合は89.4%です。

正確な数は分かりませんが、同窓会員の皆さんも、様々な社会貢献活動を実践しておられることでしょう。同窓会にても、プラン活動、あしなが育英会活動では、毎年たくさんの寄付をいただいております。ありがとうございます。

気候変動問題に関心がありますか



放送大学神奈川同窓会の皆さん、こんにちは。12月の社会貢献活動をお知らせします。第35回総会第4号議案で承認いただいた「お金をかけず・誰でも・いつでも参加できる」社会貢献活動の展開に着手しました。

12月は、まずは「社会貢献活動を楽しく取り組むために3つの共有したいこと」の確認を行い、皆さんに、新しい活動のコンセプト(実績概念)として、「同窓会活動にふさわしい3つの柱」を呼びかけました。

1 取り組みにあたり共有したいこと

1. 目的と手段を間違えないようにしましょう
2. 事実(ファクト、リアル)と意見をわきまえて話をしましょう
3. 賛成、反対ではなく「共感」「共有」を大切にしましょう

2 放送大学同窓会にふさわしい社会貢献活動の姿を共有しましょう

同窓会の社会貢献活動を「アクター」の立ち位置から「3つの柱」で呼びかけたいと思います。

1つめの柱は、同窓会そのものがアクターとなるもの

2つめの柱は、放送大学学習センター、同窓会などと、地域を、プロボノ（スキル・資格・経験を活かして社会貢献活動をすること）やボランティアとして橋渡しのアクターとなるもの

3つめの柱は、ステークホルダーを超えて個人がアクターとなるもの

具体的に「何を」と「どのように」は、これからご一緒に描きましょう。

2.1 発足時から取り組んでいる「就学困難児対策」を第1の柱としましよ

う

発足時より、プラン活動、あしなが育英会活動として「就学困難児対策」に取り組んでいます。ただし、現代は「ガザ地区で学校生活が始められない」「女子の学校教育定着率が低い地域と宗教的保守派の多い地域の関係」など、就学困難児対策は多様な対策が必要となってきました。

2.2 放送大学で進める「地域貢献対策」を第2の柱としましょう

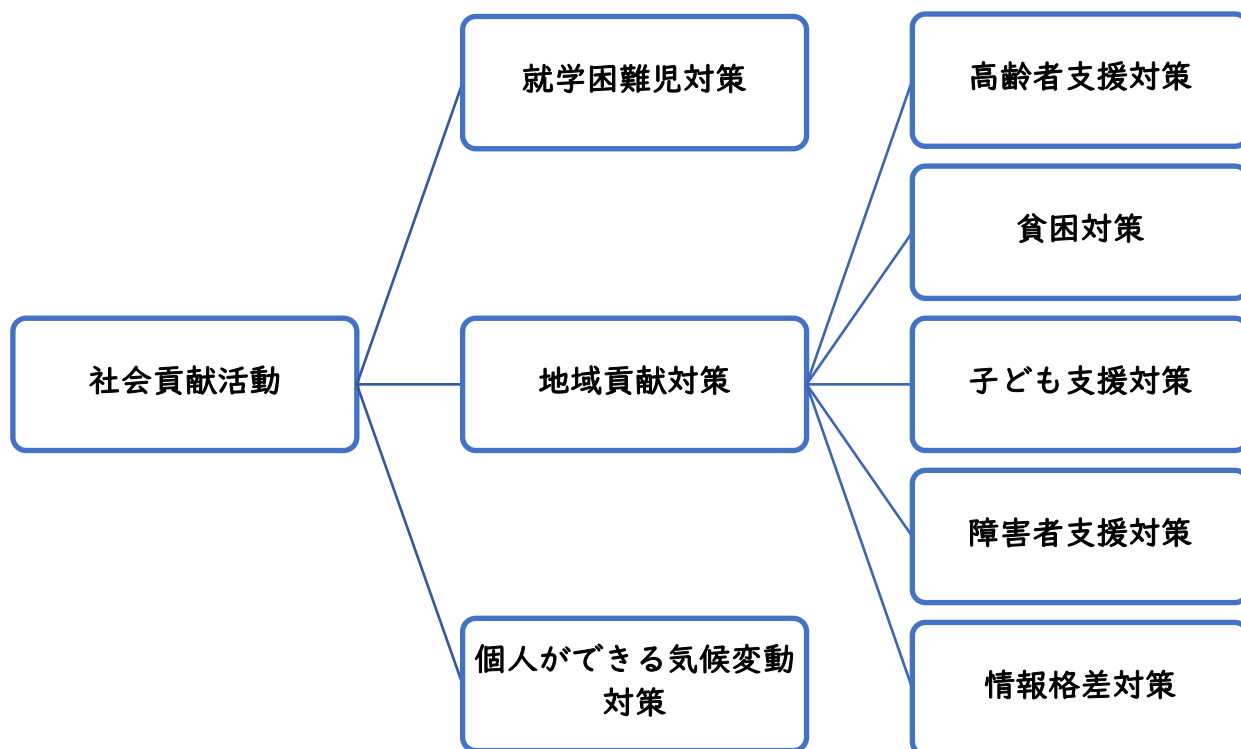
2021年4月「学長メッセージ」を通して、放送大学では「地域貢献対策」に取り組んでいます（「学長メッセージ」「放送大学の地域貢献」ページは放送大学ホームページの検索欄で「地域貢献」を入力し、クリックしてください）。私たちも、放送大学『社会福祉—新しい地平を拓く（'22）』、放送大学『ソーシャルシティ（'23）』などをガイドラインに「高齢者支援対策」「貧困対策」「子ども支援対策」「障害者支援対策」「情報格差対策」の5つをサブテーマに地域貢献対策に取り組みたいと思います。

2.3 放送大学・SDGsなどが進める「個人ができる気候変動対策」を第3

の柱としましょう

気候変動問題には、ステークホルダーも絡み様々な解釈や意見があります。よって、放送大学『地

球温暖化と社会イノベーション(‘18)』などをガイドラインに、「個人ができる気候変動対策」に絞って取り組みたいと思います。



3 社会貢献活動の目的を共有しましょう

1. アウトカム(〈目的へどこまで近づいた?〉など生み出された結果)を明らかにしましょう
2. アウトプット(〈目標がどこまで達成できた?〉など計画された結果)を明らかにしましょう
3. インパクト(〈信頼がどこまで深まった?〉など影響を与えた結果)を明らかにしましょう

やや聞き慣れない言葉かも知れませんが、同窓会などにふさわしいコンセプトの枠組みとして、内閣府「平成17年度科学技術振興調整費報告書」を参照しました。ただし、アウトプットの「計画」は、既に毎年の活動計画に明記していますので、「目標」も明記したいと思います。

■ 今月のお知らせに対する、あなたのご意見をメールでお聞かせください

社会貢献活動は、「私たちが活動したいこと」を、「同窓会の皆さんが活動に参加したくなるように」距離を縮めるコミュニケーションが大切と考えています。企業と違い公益をめざす同窓会です

ので、「私たちが活動したいこと」よりも「同窓会の皆さんが活動に参加したくなるように」の方が優先されます。

「今月の社会貢献活動のお知らせ」および「同窓会の社会貢献活動」に対するご意見を、どしどしメールでお聞かせください。

私たちは、「共感」「共有」がとても大切と思いますので、頂いたメールは、氏名などの個人情報は外して、原則として「波濤 Web」の「新着記事」と「社会貢献」ページにて公開します。

著しく同窓会会則に反するものは公開しません。ご理解ください。

■ メールの必須事項

- 件名 (全角文字 20 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)
- 本文 (全角文字 200 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)
家族も含め、他人のプライベートな情報を本人の了解なく公開することは止めましょう。
- お名前 (公開しませんが、同窓会員本名を必ずご記入ください)
- ニックネーム (公開します)
- プロフィール (ご自身を表す言葉をご自由に。全角文字 30 文字以内でお願いします。公開は必要に応じて編集します)
- メールアドレス (公開しませんが、編集のお問い合わせのために、必ずご記入ください)
- 写真 (必須ではありませんが、関連する写真があれば 4MB 程度の「JPG」あるいは「GIF」ファイルを添付いただくと嬉しいです。
人が写っている写真を投稿する際には十分注意しましょう。写真に写っている本人、あるいは他人からあらかじめ同意を得てください。公開は必要に応じて掲載します)
- 受信日は、社会貢献活動担当者が投稿を受信し、内容を確認した年月日とします。公開の投稿日は、社会貢献活動担当者が『波濤 Web』に掲載依頼した年月日とします。

■ メールの送り先

理事・社会貢献活動担当 田代和嘉 drc88890@biglobe.ne.jp

//

佐々本幹夫 sasamoto.gigi.mikio.1006@sasamotoroom.jp

★上記のいずれかにお送りください。頂いたメールは担当で共有します

★波濤ネットで配信されたメーリングリストでは返信できません。上記の担当メールアドレス宛に送信ください

12月の社会貢献活動のお知らせは以上です。

2025年1月の社会貢献活動のお知らせもお楽しみに!

11月度社会貢献活動会議事録・12月役員会承認より記事を作成しています。